

質疑並びに一般質問

各議員の氏名の右にあるQRコードを読み取ると、その議員の議会での録画映像を御視聴になれます（公開期間は4年間）。

9月定例会では、6日間にわたり22人の議員が市の政策について提言し、課題や市政運営等について、ただしました。ここでは、その一部をお知らせします。
※この記事は各議員が要約して執筆しています。

公明党

おがわ ゆりこ
小川百合子



VR、AIを使った平和継承について

Q被爆の記憶を次世代に継承する取組として広島市ではVRゴーグルの貸出しを行っている。原爆被害を身近に体験できるバーチャル映像が組み込まれたVRゴーグルを借用し、活用してもらいたいと思うがどうか。

A広島市ではVRゴーグルを使い、被爆直後の惨状、その後の復興の流れを仮想現実技術で体感できる点で、若い世代へのアプローチとして有効な手法の一つとして考え、様々な取組を参考に引き続き平和施策について検討していく。

動物愛護について

Q高齢者でも動物ふれあいセンターから犬や猫を譲り受け安心して共に生活できる仕組みづくりが必要と思うが現状と今後の方針についてはどうか。

A現在65歳以上の方や単身者にも譲渡を行っているが、動物の終生飼育に御協力いただく補助者を選定している。今後は御自宅への訪問や、動物病院などの関係機関と連携し、飼育継続可否に関わる相談にも応じられる体制整備を検討する。

フッ化物洗口について

Q令和6年第3回定例会で取り上げたが、現在までに39園進めていることは高く評価している。今後の拡充の検討につい

て伺う。

A今年度は公立保育園22園を含め、計39園で取り組むことになっている。小学校のモデル校の選定については幾つかの条件により、2校を選定した。学校現場に負担が少ない実施方法について検討していく。フッ化物洗口は集団で実施することで家庭環境に左右されず、健康格差の縮小につながると認識している。

終活支援事業について

Qお一人様など単身高齢者の人生の終盤を幅広く支援する仕組みが必要と考えるが現在の取組や実績はどうか。

A市民向けの出前講座や相談窓口など意識の醸成に努めている。国の議論を注視する中で、現状の課題も含めた具体の把握に努めるなど施策に向けた検討を行っている。

沼南近隣センターについて

Q今後新しい沼南近隣センター建設のスケジュール、地域住民との検討について伺う。

A沼南庁舎バス乗り継ぎ場を整備候補地として、現状の乗り継ぎ機能維持を前提に検討を進める。機能や規模については将来需要を見据えつつ、近隣センター整備検討会の立ち上げを予定している。

公明党

なかじま たかし
中島 俊



6年度決算について

Q駅前送迎保育ステーション3園委託料について、3園それぞれの公定価格、園児1人当たりの経費は幾らになるか。

A委託料3園の合計は3,456万4,438円で園児1人当たり経費額は200万から400万程になる。

Q公立、私立一般園園児1人当たりの経費額は幾らか。

A150万程だ。

Q駅前送迎保育ステーションに対し一般園の3倍の経費を費やすこの不均衡状態は適正と言えるかを市長に伺う。

A定員が充足した場合、1人当たり52万円くらいになる予定だ。駅前に保育施設を設置するスペースがないことで本施設設置を実施した経緯がある。駅前に一般園を建設するより本施設設置の方がコストがかからないと考えてのことだ。



柏駅前送迎保育ステーション

産廃処理違反について

Q産廃処理法に違法した工事を市が指示、これは事実か。

A逆井小学校南側市道掘削箇所よりコンクリートがら、プラスチック製トタン等廃棄物が交ざった土砂が確認された。施工業者と協議しながらも工事の継続が困難となったため、柏市第二最終処分場へ廃棄土を運搬、仮置きを指示した。この廃棄物交じりの土は、産業廃棄物として取り扱うべきものだったが、通常の土砂として運搬、仮置きをしており、廃掃法に基づく飛散防止対応、仮置き場表示などの対応を実施していなかった。反省すべき点と思っている。

Q廃棄物を市の敷地内に保管してもよいのか。

A最終処分場に埋めるわけではなく、仮置きしている状態は合法だと考える。

再発防止及び処分について伺う。

A口頭注意指導にとどめた。各所、法令遵守徹底を指導し、再発防止に努める。

柏駅周辺まちづくりについて

Q東口再整備、北口改札設置に向けた調査内容について伺う。

A10月末、JR柏駅における乗降客の通行動線や通行量についての調査を実施する。現在の柏駅の人の動きや利用状況の把握、分析を今後の新たな改札設置へ

の具体的検討へつなげていきたい。

高齢者支援について

Q補聴器助成制度について千葉県内多くの自治体で助成を行う動きがあるが本市

の現状について伺う。

A今年度、聞こえの実態調査を行う予定である。本市が購入費用助成を行うには国、県の財源が必要である。

柏清風

ふるかわ たかふみ
古川 隆史



市立柏病院について

Q現地建て替えの事業費が大きくなっているが、事業費の償還スケジュールはどのようになるのか。

A施行予定者から示された概算工事費約293億円を用いて試算すると、財源として千葉県の補助金が11億円、普通交付税措置が約31億円、合わせて42億円が見込まれる。270億円を起債し、29年間で償還する場合、元利償還金は年間約9億3,000万円、2分の1である約4億6,000万円が本市の負担になる。利子償還額については、借入利率を2.6%とした場合年間約4億円となりその2分の1に当たる年間約2億円が本市の負担になる。借入利率については現在上昇局面にあり、利率が0.5%上昇し3.1%とした場合、利子償還額は29年間で総額で約22億円増加する。

Q病院事業会計で全額を起債して、そのうちの半分については本市の一般会計で負担をする。連結で見れば病院事業会計であろうが一般会計であろうが同じになる。答弁では本市の負担と言っていたのは本市の一般会計による負担ということでしょうか。

A本市の負担額というのは正確に言うとも本市の一般会計の負担額という形になる。

柏清風

わたなべ くにひろ
渡邊 晋宏



農業行政について

Q有機農業や慣行農業、今後は市としてどのような方向性を考えているか。

A国においてはみどりの食料システム戦略等々で環境に配慮した農業ということ、推進が必要だということについては重々私も考えている。一方で安定的な供給量の確保についても重要な課題であると考えている。市としては、慣行栽培や有機栽培に限らず、農業者がそれぞれの栽培ルールや基準に沿って取り組む農業を応援し、農業全体を支援して安定的な供給量の確保につなげていきたいと考えている。



経済産業行政について

Qデジタル地域通貨やプレミアム付デジタル商品券について市の見解はどうか。

A近年地域経済の活性化やキャッシュレス化の推進を目的として、スマートフォン等を活用したデジタル地域通貨やプレミアム付デジタル商品券の導入が全国の自治体において進められている。まず、デジタル地域通貨とは、特定の地域内でのみ利用可能な地域通貨をデジタル化したものであり、スマートフォンアプリ等を通じてQRコード決済などにより利用できる仕組みとなっている。自治体が発行主体となり、地域内の加盟店舗や公共施設等で使用できることから、地域内での消費を促進し、地元事業者の支援や地域経済循環の強化に資するものと認識している。また、行政サービスとの連携やポイント付与機能などを通じて、既存施策の促進や市民の利便性向上、地域参加の促進等に寄与するものと考えている。プレミアム付デジタル商品券については、従来の紙媒体による商品券に代わり、デジタル化された商品券をスマートフォン等で購入、利用できるものであり、購入額に対して一定のプレミアム、上乗せが



フッ化物洗口

永久歯の虫歯予防を目的に、一定濃度のフッ化ナトリウムを含む溶液で1分間ぶくぶくうがいすること。特に4歳から14歳までの期間に継続実施することが効果的であるとされている

公定価格

保育園等を対象とした財政支援で給付する費用を求めるときの価格。子供1人当たりの教育・保育に必要な費用をもとに国が定めている

みどりの食料システム戦略

自然災害や地球温暖化、農林水産業の生産者減少といった課題に対応し、持続可能で強靱な食料供給体制の構築を目指すため、令和3年に国が策定した戦略。健康的な食生活の促進や環境・社会・ガバナンス投資の拡大、国際的な環境・健康戦略の動きを踏まえ、農林水産業の生産力向上と持続可能性の両立を実現することを目的としている

ワニバス

かしわコミュニティバスの愛称。柏駅から市役所本庁舎、ウエルネス柏等の公共施設をつなぐ市役所ルートと逆井・南増尾・沼南コースがある



ワニバス市役所ルート

付与されることにより、期間を限定し、消費喚起を図る制度である。発行に際しては、地域内の中小事業者を対象とした加盟店の登録を行い、利用者が地域内での買物やサービス利用を通じて地域経済の活性化に貢献する仕組みとなっている。これらの制度は、地城経済の振興に加え、デジタル技術の活用による行政サービス

の効率化や市民生活の利便性向上にもつながるものであり、導入に当たっては費用対効果や運用体制、利用者、事業者の受入れ状況などを総合的に勘案する必要がある。本市としても、他自治体の先進事例や制度の運用状況を注視しながら、地域の実情に応じた導入可能性について今後調査研究を進めいく。

みらい構想かしわ

ながやま ともひと
永山 智仁

市長の政治姿勢
Q市長就任以来4年間、千葉県ないし県知事との連携の実績・評価・課題は。
A手賀沼の観光資源に関する意見交換、子ども医療費助成の高校3年生までの拡大等が挙げられる。都市軸道路の整備も、県や知事と連携して国に要望をしてきた。本市として設置予定の児童相談所の長期滞在の日数等について、さらに情報交換をしていかなければならないのが課題だ。
小学校特設クラブ
Q特設クラブの廃止に伴い児童が地域クラブ等で活動する場合、小学校の学校施設を利用することは想定しているか。
A小学校は土日に学校開放事業等を行っており活動場所の確保が難しいため、基本的には中学校を想定しているが、競技の特性等を踏まえ今後も検討していく。
ワニバース^{知+}のシルバーチケット実証実験
Q開始から1年以上が経過したが、実証実験はいつまで続けるのか。

Aさらに多くの市民に利用してもらえるよう実験の継続について周知を図る。
スポーツ施設の利用状況
Q松葉第二近隣公園庭球場の稼働率は。稼働率が低い場合に他へ転用の可能性は。
A平日約40%、土日祝は90%の稼働率であり、市民ニーズが高い施設と考える。

なりすまし投票対策
Q明らかに容姿、年齢が違うと思われる人が投票にきた場合、どう対応するか。
A身分証などで本人確認が取れない場合は、仮投票という形で実施する。警察と相談しながら対応をすることもある。

みらい構想かしわ

うちだ ひろき
内田 博紀

市長の政治姿勢について
Q市長選挙に臨む意向を問う。
A柏に関わる全ての方々に「住みたい、住み続けたい、訪れたい」と選んでもらえるまちの実現に向け、強い決意を持って市政に取り組む。
Q公立夜間中学の必要性をどう受け止めているのか。
A公立夜間中学は様々な事情により義務教育を修了していない方や不登校などの事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方、また外国籍の方など中学校段階の学び直しを希望される方に教育を受ける機会を保障するための役割を果たすものと理解をしている。
障害者福祉について
Qショートステイの十分な居室確保を求

める。
A利用状況や実態について把握、分析し、次期障害福祉計画へ反映する。
歩行者の道路利用について
Qおおたかの森駅からおたかの森病院へ向かう柏市道の歩道整備を求める。
Aお尋ねの道路は、流山おおたかの森駅から豊四季駅南口を結ぶ都市計画道路に位置づけられている。都市計画道路については、整備プログラムにおいて優先度の高い路線から計画的に整備を進めている。来年度、プログラムの10年ごとの見直しのタイミングに当たるため、当該路線も含めて基礎調査を行うとともに、評価項目として歩行者環境の整備や用地の確保可能性などを設定し、改めて優先順位の評価、検討をする。

みらい構想かしわ

わたなべ ゆうじ
渡辺 裕二

本年度から開始のお子様連れ検診
Q昨年の9月議会にて請願『子連れでも安心して健康診断を受診できるようにすることについて』が全会一致で採択された事なども踏まえ、本年度からいよいよ、本市でもお子様連れ検診が始まった。現在の利用状況、市民の方々の反応はどうか。
A本年度から乳がん検診、子宮頸がん検診の集団検診会場において、お子様をお

預かりするブースを設け、事前予約がなくてもお子様と一緒に検診できる集団検診日を6日設けた。現時点で4回終了しているが、ゼロ歳から小学生までのお子様を含む60組70名の方にご利用いただいている。ご利用者からの満足度も高く、実施したアンケートでは全ての方から「また利用したい」との回答を得る事ができた。ニーズや満足度が高いので今後この取組を継続、拡充していきたい。

柏の葉近隣センター
Q柏の葉近隣センターの候補用地が柏の葉アクアテラス付近の区画整理エリアの用地に定まったとの報告があった。当該地区では独自のエリアマネジメントが行われているが、その中でどのような機能と役割を目指すか。

みらい構想かしわ

いとう まこと
伊藤 誠

スポーツ推進計画について
Q本市の公共スポーツ施設の稼働状況は把握しているのか。
A土日祝日の稼働率が90%を超える等施設が利用しづらい状況も把握しており、まずは利用時間の拡大や各種団体が主催する大会や研修等の優先予約に関するルールづくりについて指定管理者を含めて協議を始めている。
Q新規スポーツ施設の計画はあるか。
A新たなスポーツ施設を整備する方針は掲げていない。


A柏の葉地域には柏の葉国際キャンパスタウン構想^{知+}をはじめ、まちづくりや建築物に関し独自の指針や基準があると認識している。整備に当たっては関係部署と連携を図り地域の方々のご意見もいただきながら地域のニーズに即した施設となるように進めていきたい。

みらい構想かしわ

すずき せいじょう
鈴木 清丞

新沼南近隣センターの候補地について
Q候補地は、バス乗継場の機能を残しつつ、沼南庁舎バス乗継場周辺を案としているが、面積はどれくらいか。
A3,600平方メートルを想定している。
Q旧沼南近隣センターの面積はどれくらいか。
A建物の敷地と県道方面の駐車場の面積の合計は4,000平方メートル弱である。
Q工期はどのくらいか。
A設計に概ね2年、工事に2年はかかるものと想定している。
学校給食センターの移転について
Q沼南地区11校の小中学校の給食を提供している学校給食センターが下総基地の正門前の敷地へ移転となるのか。
A財務省と土地の売払いに係る協議を進

めている。
Qこれまでの給食センターでの課題を解消できるのか。
A2回転調理の解消、中学校でのおかず1品を追加、炊飯業務の民間委託解消、栄養士の配置を充実していく。
Q建設期間はどれくらいか。
A設計で2年、工事で2年から3年。
不登校児童生徒への支援について
Q866人の不登校児童生徒以外の長期欠席児童生徒が759人いるが、その実態は、どういう状況か。
A大半が病気だが、入院している子供はそんなに多くないと認識している。
Qスクールソーシャルワーカー^{知+}が21人配置されているが、不足していないか。
A増員が大きな検討課題の一つである。

日本共産党

やざわ ひでお
矢澤 英雄

こども誰でも通園制度^{知+}
Qこの制度は職員の配置など、子供にとって安全で適切な保育が保障されるか様々な懸念が出されている。安全のためには保護者との面談がきちんと行われるべきだが、経費は保障されるか。
A面談の経費は補助対象外である。



Q本市独自の改善を考えているか。
A必要なものは国に要望していく。
大規模小中一貫義務教育学校^{知+}の問題点
Q大規模校の保護者から、大規模校の問題点が学校に多く寄せられている。また大規模校は、「保護者と学校の距離が遠くなってしまった」と発表している。今つくろうとしている義務教育学校は、教育委員会が示す「望ましい規模」の上限42学級を超えるがよいのか。
A一時的なものは仕方がない。



柏の葉国際キャンパスタウン構想
公・民・学連携のまちづくりが進められている柏の葉地域において、「先端的で自立した都市づくり」を具体的に実践するための構想。具体的な都市づくりに取り組むため、環境・産業・国際・交通等に関する8つの目標を定めている



スクールソーシャルワーカー
児童生徒の様々なニーズや課題に対して、環境改善や整備に着目した働きかけや、支援のための関係機関等とのネットワークづくりなどを行う。教育や福祉において、活動経験の実績等がある者が職務を行う



こども誰でも通園制度
保護者の就労状況に関係なく、月10時間の枠内で保育園に未就園児を預けることができる制度のこと。全国的には8年度から実施されるが、本市においては令和7年10月から試行的事業が始まっている



義務教育学校
小学校（前期課程）と中学校（後期課程）を一つの学校として、義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進する学校のこと



柏中学校区
義務教育学校

高田小学校通学路の安全確保

Q 近くの交差点を歩車分離のスクランブル交差点にする、学校前をスクールゾーンにするなどが必要と考えるがどうか。

A 安全対策としてスクールゾーンは必要と考えるので、学校や地域と合意形成を図り、実現に向けて対応する。

ワニバス^{知+}の停留所設置

Q 住民が求めている柏公園入り口付近の、停留所設置取組の予定を示せ。

A 今年度中に工事を完了させ、その後バス事業者が必要な手続を進めていく。

日本共産党

ひらの こういち
平野 光一



脱原発についての市長の考え

Q 3月議会で東海第二原発の再稼働の是非について聞かれ、市長は「再稼働しないほうが望ましいという思いはあるが、昨今のデジタル技術の進歩など電力需要の高まりなどを経て、やっぱり現実的に対応していかなければいけないこともあるかというふうに思っている」と答弁した。原発の新增設、再稼働容認の立場に変わったのか。

A 原発に依存しない社会を目指したいという思いは、市長就任以来一貫して変わっていない。

Q 変わっていないというのなら3月議会の答弁は訂正していただきたい。

A 思いは変わらない。

UR豊四季台団地の専用水道

Q 専用水道を市の水道に切り替える場合の本市の立場に変わりはないか。

A あくまでも居住者の同意、合意形成が前提との立場、考えに変更はない。URからは地下水の継続を求める要請署名を受領したとの報告を受けている。これまでも全居住者の同意が図られた状況において市上水道への切替えを求めてきたが、改めて本年8月8日書面にてURに依頼した。引き続き居住者との十分な協議や丁寧な説明を行い、同意、合意形成が図られた後に市上水道への切替えを実施するよう機会を捉え要望していく。

日本共産党

わたべ かずこ
渡部 和子



公共施設への生理用品配備

Q 流山市は学校だけではなく、市役所のトイレにも生理用品を配備している。市の公共施設にも配備してほしい。

A 他自治体や民間事業者が取り入れている先進事例を調査研究していく。

アフタースクール事業^{知+}

Q こどもルームと放課後子ども教室を一体化し、民間に委託する方針には反対である。支援員へ説明しているのか。

A 1月に説明会を開き、民間委託を検討していると伝えた。6～7月にかけて全指導員等を対象に事業を説明した。

Q 支援員の雇用の継続、賃金の現行水準、それ以上になることは確約されるか。

A 希望する職員の雇用、賃金水準も維持またはそれ以上と提案されている。

公共交通の充実

Q 6月議会で公共交通の充実を求める請願が採択された。6つの団体と意見交換を行い、ヒアリングを実施することのことだが、どこまで進んでいるのか。

A 4団体とは再度ヒアリング調査を行っている。課題解決に取り組んでいく。

Q 病院バスの活用はどうなっているか。

A 利用者のクレーム等の窓口は市にすると記載し、アンケートを実施している。

投票しやすい環境整備

Q 選挙の投票所に車椅子を配備すべき。

A 安心できる環境づくりに努める。

市民サイド

まつもと ひろみち
松本 寛道



柏駅周辺と柏の葉キャンパス地区への二極集中政策について

Q 本市内の過疎で困っている地域から過密で困っている地域へ人口が移動している。問題認識はどうか。

A 柏駅や柏の葉キャンパス地区は人口が増加するが、それ以外の地域は減少傾向にある。都市機能と居住をどのように誘導するかが重要だと考える。

Q 柏の葉キャンパス地区では保育園に入れず、小学校のグラウンドを削って校舎を

建設している。これ以上の人口増加は望まれていない。本市内の過疎で困っている地域へ人口を誘導すべきではないか。

A 今後も人口増加が見込まれることから住民サービスの向上を進める。

おこめ券^{知+}配布の無駄について

Q 事業者支援等は検討したのか。無理に広く配ろうとしたためにおかしなことになってしまったのではないか。

A 配分額や社会情勢を勘案し選定した。

Q 1億円を配るのに5,000万円も費用がかかることにに対し疑問はないのか。

A これまでの事業においても事務経費はかかっており、やむを得ない。

Q おこめ券配布のような経費ばかりかかる事業はやめてもらいたい。国の交付金に備えてメニューを用意すべきだ。

A 地域通貨等の仕組みも給付事業に使えるので研究を進めたい。



柏の葉キャンパス駅周辺

市民サイド

わかさ ともひろ
若狭 朋広



柏駅周辺の衰退と駐輪場について

Q 柏駅前では大型商業施設の撤退や商店街の閉店が相次いでいる。本市は柏駅周辺に自転車放置禁止区域を指定し、放置自転車を取り締まった結果、まちの景観はきれいになった。しかしその反面、地元の方が自転車で来られなくなり、柏駅から人が離れていく実態がある。お店前に気軽に止められる駐輪帯^{知+}の設置は、商店街の売上げを押し上げる施策になると思うが、そのような発想はあるか。

A 商店街活性化事業補助金制度の中に補助メニューがあり、商店会それぞれが集客の努力をされると考える。

Q 長年商店街でお店を営んでいる六つ

の店舗の協力を得て、買い物に来た市民に対してアンケートをとった。自転車を一時的に止める場所が欲しい、今ある駐輪場が遠くて困っている、という内容で、12日間で513件も署名が集まった。日常的に買い物に訪れる市民の切実な声である。これに応える形で駐輪帯を設置できないか。

A 歩行者と自転車利用の仕方と総合的に考える必要がある。

Q まずはパレット柏の前の歩道への設置から検討して欲しい。衰退する柏駅に命が吹きこまれるのではないか。

A 歩行者と自転車利用者それぞれが利用しやすい形にしたい。

市民サイド

はやし さえこ
林 紗絵子



気候変動への適応策

Q 気候変動への対応は緩和策と適応策の両輪が必要だ。緑地面積の拡大、パーゴラやミストの設置は数値目標を持って計画的に実施すべきではないか。また屋

上やベランダ、壁面の緑化への助成は、本市でも検討すべきではないか。

A 第三期柏市地球温暖化対策計画改定版で、森林や緑地の保全及び整備、ハザードマップ等による災害リスクの周知、排

日本共産党

むとう みつえ
武藤 美津江



外国人の対応

Q 日本人ファーストが声高に叫ばれ、生活保護、国保などで外国人が優遇されていると言われたが、その実態はあるのか。

A 国籍による優遇等の措置はない。

Q 外国人の国保を前納制にするとか、未納の外国人に対して入管と情報提供するということは、差別ではないか。

A この通報するという仕組みは、在留期間の更新、在留資格の変更という一連の取組の中の一つに位置づけられているもので、そういった事実がある場合には速やかに報告することになる。

Q 入管に報告するとどうなるのか。

A そこから先は、入管のほうの手続になって、例えば資格がなくなるとか、そういったことになるかもしれないが、あくまでも、我々としては納付状況を報告するという手続になる。

Q そこから先は分からないというのは、随分無責任だ。在留許可が下りずに、仮放免の外国人は仕事はしてはいけない、医療も受けられない、生活保護も受けられないという無権利状態になるのでは。

A 悪質な場合ということで、おおむね納付期限が1年以上経過しているような者が対象になる。この仕組みについては、外国人の方の在留期間の更新など資格の変更の審査の一環で行われる。

日本共産党

たぐち やすひろ
田口 康博



ソーラーシェアリング^{知+}

Q 匝瑳市の「ソーラーシェアリング」の会社の施設見学を行った。広大な耕作放棄地等にソーラーパネルを最適に設置し、その下で農作物を育てる等、地球環境を守り、持続可能な地域・社会を実現する画期的な手法と印象を持った。この事業は大きな成功を収め、23haで約6MWの発電能力だ。国内・海外から多くの視察・研修が訪れ、立地する匝瑳市は、環境省より脱炭素先行地域に選定されている。本市でも、増加している耕作放棄地などを有効活用し、本市で始まる自治体新電力事業と連携する等、十分検討できるのではないか。

A 「ソーラーシェアリング」は、脱炭素の推進や農業者の収入向上、地域経済の活性化などの効果が期待できる事業と認

識している。一方、事業の実施に課題もある。「ソーラーシェアリング」の導入可能性を探るため、令和4年12月には、静岡県内における取組を視察した。今年10月には、紹介の匝瑳市に視察予定だ。引き続き、市内農業者へのヒアリングや先進地域の事例研究、国の制度や事業の動向等、情報収集を行う。自治体新電力によるエネルギーの地産地消や「ソーラーシェアリング」の検討を含め、本市のゼロカーボンシティ推進に取り組む。



ソーラーシェアリング会社の圃場（匝瑳市）



ソーラーシェアリング

農地に支柱を立て、農地の上部空間に太陽光発電設備を設置し、農業生産を行いながら発電も行う（農業生産と発電で太陽光をシェアする）取組のこと。作物の販売収入に加え、発電した電力を自家利用することで農業経営の改善が期待できる

アフタースクール事業

現在本市で運用されている「こどもルーム」と「放課後子ども教室」を一体的に運営する事業のこと。市立小学校全42校のうち20校は8年度から開始となり、残りの22校については9年度以降に順次展開予定



おこめ券

1枚当たり440円分の米を購入することができる商品券。本市では、物価高騰に伴う生活支援として、特に影響の大きい住民税非課税世帯を対象に、一世帯につき2,200円分を配付予定

水施設、貯留施設、浸透施設の整備を掲げている。壁面緑化や屋上緑化についても他市の事例などを参考に検討する。

市民プールをなくさないで

Q 気候変動によって夏は過酷に長くなり、子どもは外遊びがしづらくなるため、水遊び場の確保は重要である。水泳授業の民間委託が進み、学校プールが除却する方向性であることから、市民プールを減らす方針は見直すべきではないか。

共創かしわ

ふくもと 福元 あい 愛

図書館を核としたまちづくり

Q 文化の複合施設としての図書館建設へ向けかじを切る時期ではないか。

A 「図書館の在り方」の具現化のためにもハードの整備は重要だと考えている。

Q 柏駅東口再整備で、居場所や図書館を核としたまちづくりを検討できないか。

A 市民や来街者からの第三の居場所へのニーズを酌みつつ、商業機能等との複合的利活用の可能性を検討し進めたい。

観光拠点としての今後のあけぼの山整備

Q アクセス道路の改善のほか、駐車場の集約化や情報発信等の工夫が必要では。

A ランドスケープの検討と駐車場の整備、車両誘導案内の工夫を考えたい。

Q Park-PFI制度^{知+}の活用を検討し、併せて他の公園への採用も検討してはどうか。

A 魅力向上や効率的な管理のため、民間

A 利用期間が短く、年間維持管理費に加え老朽化による修繕費も高額になっている。市内に民間温水プールが複数あることから、5か所の市民プールを2か所にする計画とした。

Q 本市中部の運転できない家庭からプールを奪う。子育て世代の免許所持率が減少傾向であることを計画に反映したか。

A 関係部署で検討し、5か所維持するのは現実的ではないという意見が出た。

活力を活用した公園運営を検討したい。

近隣センターの設備充実と体育館の空調

Q 市内全館に映写機を配備すべきでは。

A ぜひ、前向きに検討する。

Q 早期に体育館の空調設備を求めるが。

A 効果的な整備方法を協議したい。

柏の葉近隣センター設置に向けて

Q 出張所と図書館は必要だと考えるが。

A 整備検討会の意見等を基に検討する。

イノシシ対策と鳥獣対策の体制づくり

Q 対策と情報提供、併せて事務の一本化と体制づくり強化が図られるべきでは。

A 即時性ある情報発信を検討したい。組織の在り方は一つの課題とし考えたい。

私の母校～旧田中北小校地の行方～

Q 進捗が滞る中、暫定的活用も有効では。

A 跡地活用や運用指針を策定し、他市事例から手続や体制の調査研究を進める。

共創かしわ

やまだ 山田 かずひと 一

まちづくりについて

Q 本市の地域特性、産業の振興を問う。

A 人口減少時代においても、さらなる持続的な経済成長を実現するため、これまで以上に市内外からの人・企業・情報が集まり、活発な事業活動が行われることにより、生産額や昼間人口の増加を図るとともに、地域を超えた広域経済圏の牽引役として産業振興を図っていく、またはさらなるイノベーション創出を図ることが必要と考えている。引き続き築き上げてきたまちの魅力を生かしつつ、新しい価値が創造されるチャレンジできるまちに向けた環境整備に積極的に取り組み、地域経済も牽引するリーディングコアシティーの実現を目指していく。

Q 道の駅しようなんの展望を問う。

A 6年度の来場者数は約138万人で、対前年度比112%と当初の目標を大きく上回る実績を計上し、売上、利益とも堅調に推移している。その展望については、手賀沼アグリビジネスパーク事業の中核施設として手賀沼周辺の地域振興を担い、

自家用車によらない交通手段やアクセスの向上策の取組、加えてさらなる農業振興や地域振興、観光振興に寄与できるよう取り組んでいく。



道の駅しようなん

土木行政、地域の諸問題について

Q 永楽台地域は水害、雨水対策に苦勞を強いられた地域である。大津川左岸第3排水路対策について問う。

A 整備概要として延長約328メートルを3工区に分け、蓋つきU型カルバートに敷設替えを行い、整備期間を3か年計画とし、今年度工事発注をした。老朽化による水害被害が生じないよう取り組む。

無所属の会

すえなが 末永 やすぶみ 康文

相撲場の改修工事

Q 改修工事の入札の見積り合わせと言いながら、ボランティアで修理が行われ、でたらめな随意契約ではないのか。

A 複数業者から見積りを取得し、最も金額の低い相手と契約した。

Q 積算根拠を見ると解体作業、構築作業、勝負俵の設置、土の運搬、諸経費としているが虚偽の申請ではないのか。

A 2者からの見積り合わせで低い業者に決めたので手続上は何ら問題ない。

Q ボランティアで工事を指摘され、ボラ

ンティアの方にお金が払われている。これは役所が介入して、口裏合わせをしているのではないのか。こんな税金の使い方ではないのか。

A 土俵の改修は専門性等あり、金額の検証していくのが難しい。これは致し方ないのではないかと考える。

社会を明るくする会

Q この会の会長は市長で、会の開催10日前に講師に虚偽記載があるとして再印刷した。この印刷代は4万5,000円まるまる税金である。事実について回答を。

A 講師から辞退の申出ということで聞いている。支出に関しては議員指摘のとおり負担金から支出した。

相撲部の学区問題

Q 柏相撲クラブの児童がなぜ二中学区になっているのか。

A 学区外就学については特別な事由がある場合に認め、部活動による事由もその一つである。

Q 現在10名の中学生が寮生活をしているがこれらも認めているのか。

柏エナジー

きたむら 北村 かずゆき 和之

がん対策について

Q これまでも市長とは「がん対策取組日本一のまち柏」という意識は共有できていると認識し、引き続きの取組をお願いする。加えて、「がん検診率日本一」を目指すに当たり、現在の本市の立ち位置や取組についてはどうか。

A 本市のがん検診受診率の状況を他市と比較し、乳がん検診のみが全国の実受診率を上回っている状況であり、市としてはまず全国の実受診率平均値を上回ることを目標とし、これを達成後さらなる受診率の向上に努めていく。

教育行政について

Q コロナ禍を契機に小学校中学校の入学式卒業式に招かれることがなくなった。社会の宝である子どもたちに地域の方々や議員、多くの方々が関わり見守ってお

A この寮は一民間の方が行っているもので市教委、市のほうで行ってはいない。

Q この寮へ児相や警察が入る、九州から親が来てもし子供に会わせられないような寮生活が義務教育課程の中で問題がないと認識しているのか。

A 子供たちの最善の利益が損なわれる状況を確認したので申し入れる。

Q 相撲クラブで不登校や寮に住所だけで流山から通うことが認められるのか。

A 住所地を基に適正に判断している。

Q 今、寮はどこの学区か。

A 柏第四中学校ということだ。

Q 義務教育で12歳～15歳の子供、親が必要な年代、多感な子供なのに、保護者間のトラブル、児相も入った。こうしたことに教育委員会は加担するのか。

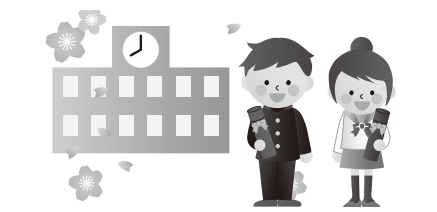
A 加担するのではなく子供たちが生活できるよう申し入れていきたい。

Q 全国から集めた寮生活など市教委に問題があると言わざると得ない。

A 子供たちに不利益にならないよう申し入れる。

り、私はA Iやデジタル技術などがどれだけ発展しても「人のつながりを起点とした社会」が重要と考えているが、来賓の招待状況や考え方についてどうか。

A 現在、来賓を招待している市内小中学校は約2割で、各校の教育課程^{知+}は学校長が責任者として編成している。入学式や卒業式の内容や実施方法は児童生徒の意見や地域住民や保護者等の意見を踏まえ、各学校が創意工夫するものと考えているが、議員の熱い思いはしっかりと受け止め学校と検討を進めていく。



柏エナジー

かみはし 上橋 しほと

ミストシャワー

Q 柏まつり本番で設置したミストシャワーの成果をどのように評価しているか。

A 1年間で最も人流の多い柏まつり開催日に試験的に設置したものであり相対的な評価は困難だが、昨年度と比べ気温、湿度も低かったこともあり今年は熱中症が2日間で1件だけと減少していた。次年度以降についても、夏に開催するイベントである以上は来場者及び従事者の安全のため熱中症対策のさらなる強化は不可欠だと考える。今後についてはミストシャワー設置を含め、より効果的な対策ができるよう取り組んでまいりたい。

ウイングホール柏斎場

Q 火葬炉はいつまでももたない、使えなくなるのではないかと、その見通しは立っているか。

A 今後の検討の進め方という質問だと思うが、まずは待ち日数の縮減という短期

的な取組についての検討を行うこと、それから火葬炉の設備に関しての見通しとか、更新をどうしていくのかといった長期的な検討、その辺りを併せて行っていくことになるかと思う。

Q 新しい火葬場、斎場の在り方として、布施で更新するか、ほかの用地で建てるか、どのような議論になっているか。

A 建て替えに関する議論というのは現在なされていない。



ウイングホール柏斎場



5 駐輪帯

歩道や道路の一部に設けられた自転車専用の駐輪スペースのこと。道路法施行令等において駐輪器具の占用が認められており、併せて占用場所の基準が定められている

6 Park-PFI制度

平成29年の都市公園法の改正により、民間資金などを活用した公園利用者の利便性向上や公園管理者の財政負担の軽減を目的に導入された制度のこと。事業者の収益の一部を公園整備に還元することを条件に、都市公園法の特例措置として公園内に設置する民間施設の事業期間が10年から20年に延長されるほか、設置する施設の建蔽率が通常の2%から12%へ拡大される

6 教育課程

学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を子供の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画のこと

